

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 2 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間を想定した防災訓練が行えていない。またコロナ禍により地域との連携が希薄になりつつあるが、災害時に近隣の力を必要とする際に、顔つながりができている。新しい夜勤専従職員への訓練の周知ができている	夜勤専従者への災害発生時の対応の周知 近隣住民との顔つなぎ、災害時の個々の役員様の具体的な役割の周知 令和6年からの研修、訓練の義務化にあわせ今年度より上半期1回下半期1回を行う	夜勤専従者へは、個別に各フロアリーダーがレクチャーを行う。リーダーが日勤勤務終了後に、夜勤者と共に実際消防入電等の訓練を行う。その旨事前に消防署へは届を提出 コロナ緩和の兆しが見えている為、町会の会合や懇親会が開催されれば参加し、顔の見える関係性を構築す。近隣の施設に赴き災害時の対応法等を共有し共助関係を作る努力をする	12ヶ月
2	4	運営推進会議のメンバーが施設内に留まり、地域からの情報が入手が乏しい状態。施設側からの情報は発信しているが一方通行の感がある	近隣住民の方々、民生委員、利用者様家族、近隣施設の方からなる、多様な意見交換ができる会議を目指す	コロナ禍が落ち着いたら、まずは面会を再開し、その際に比較的時間の自由度の高い家族様へ会議参加を促す。また新入所の際に重要事項説明書内に会議の存在、参加可能であることを明記し促す。上記の近隣との顔の見える関係性を構築するにあたり参加をお願いする。また近隣の施設の会議に参加をさせて頂き、こちらの会議出席も依頼をしてみる	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。